

日本福祉大学

山形最上オフィス通信

発行：東北地域ブロックセンター

第4号

山形最上オフィスのアクセス

〒999-6101
 山形県最上郡最上町大字向町674番地
 最上町立中央公民館内
 TEL 0233-43-9232
 FAX 0233-43-2350
 (火～土 10:00～18:00)
 ※ブロックセンターのブログを始めました！
 ブログURL <http://blog.n-fukushi.ac.jp/bc-yamagata/>
 (PC・携帯共通)



(ブログ携帯用QRコード)



イベント情報

うだるような暑さの夏も終わり、過ごしやすい秋になりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか？

5月末から東北地域で進学相談会・AOガイダンスを行いました。初の試みでしたが、多くの高校生に足を運んでいただきました。ふくしのこと、取得できる資格、下宿や奨学金制度など、真剣に職員の話聞き、本学への理解を深めていました。

オープンキャンパスもこれまで5月、7月、8月と開催されています。午前は学部学科や入試対策などの説明会がメインで、午後からは講義体験、在学生によるキャンパスツアー、個別進学相談会、下宿バスツアーなど様々なイベントが目白押しです。8月のオープンキャンパスでは24時間テレビの巨大ドミノ倒しを美浜キャンパスで見学・半田キャンパスで上映しました。



東北地域からもオープンキャンパスに参加しています。「実際に大学を見て、より一層入学したい気持ちが強くなりました！来て良かったです。」という嬉しい声も参加者の方からいただいています。

次回のオープンキャンパスの開催は、10月31日が半田キャンパス、11月6日が美浜キャンパスとなっております。11月6日～7日は第58回福祉大学祭も開催されますので、さらに楽しめること間違いなしです。今年最後のオープンキャンパスなのでこの機会をお見逃しなく、是非ご参加ください。

宮城県地域同窓会総会・東北ブロック代表者会議

今年度の地域同窓会総会が全国各地で始まり、東北地域は6月12日は秋田県、7月17日は宮城県、8月28日は青森県と続々開催されました。当オフィスは宮城県同窓会総会に参加させていただきました。ホテルサンルート仙台にて社会福祉学部教授の野口定久先生を講師に迎え、「これからの社会福祉の展望と課題—新しい産業としての福祉人材養成」と題した文化講演会が開かれ、その後地域同窓会総会、懇親会を行いました。懇親会では盛り上がりを見せ、今まで以上に交流が深まりました。



写真左：
宮城県地域同窓会
(懇親会)
写真右：
代表者会議

10月2日は東北地域ブロック代表者会議が仙台ガーデンパレスにて開催され、同窓会本部・東北各県代表になっておられる計12名の方々が参加されました。地域同窓会の状況、今後の計画や取り組みなど発表し、いかに同窓会を盛り上げ母校の発展に貢献していくかを話し合いました。

1955年に同窓会が結成され、今年で55周年。同窓会設立55周年記念祭が大学祭と同時開催されますので、会員のみならず母校へ足を運んでみてはいかがでしょうか？

当オフィスも同窓会との連携強化に努めていきますので、在学生・進学志望者への支援に力を入れていきましょう。

卒業生の声



今年度から本部地域担当理事になりました。どうぞよろしくお願いいたします。

大学は、現在、通学課程7学部、通信教育部、大学院で構成する総合大学に発展、学生数は約12,500人。そして山形最上オフィスと同様のブロックセンターを全国7箇所に設置しています。同窓会は、地域同窓会を基軸に、学部・同期・認定同窓会と多様なネットワークが構築され、互いの親睦・連携そして母校の為に活動をしています。

私は、“60年安保”で日本中が騒然とした時に入学。改めてその後の社会の変貌に驚かされます。21世紀に入ってからの貧困の拡大、年間3万人を超える自殺者、子どもや高齢者の虐待、若者の孤立・孤独、生きづらさ等々の問題に、社会福祉労働に従事する者として怒りがこみ上げてきます。

この時こそ、同窓会各々の領域での社会的貢献が期待されます。1人でも多くの若者に母校で学んでいただき、卒業後は地元へ迎え、共にスクラムを組むことが出来れば、生きていくことが困難なこの社会を、“誰もが安心して過ごすことが出来る地域”に変えることが出来ること確信しています。

東北各地域同窓会は、母校の発展のために、最上オフィスと協働して頑張っていきたいと考えています。

(日本福祉大学同窓会東北地域担当理事 佐俣主紀さん)



学生奮闘記

はじめまして。社会福祉学部保健福祉学科アフタヌーンコース4年の沓澤紗由香です。美浜町で生活しています。

大学生活も残り僅かとなりましたが、サークル活動と実習が特に印象に残っています。サークルは、聴覚障害学生の授業の情報保障をするパソコンテイクサークルに入っています。1年生の頃はタイピングも遅く、先輩方に頼ってばかりでしたが、授業で実践を重ねるにつれ、速さも大事ですが、いかに大事な部分を逃さず打つかということも大切だと分かりました。

サークルを通して聴覚障害学生とも交流する機会が増え、良い経験となりました。

実習の方は、3年次に社会福祉士、今年の夏に精神保健福祉士の方の実習を行いました。それぞれの実習で学ぶことが多く、実際の現場を見ることができ、とても勉強になりました。

卒業後は地元最上町に戻り、大学で学んだことを活かし、仕事をしていければと思っています。社会福祉士と精神保健福祉士の国家試験を受験するので、両方合格を目標にこれからも頑張っていきたいと思っています。そして残りの大学生活も楽しく過ごしていきたいです。



フレッシュ新入生

僕は現在、日本福祉大学の社会福祉学部にて在籍しています。



高校が仙台だった自分が、近場にあった東北福祉大学ではなく日本福祉大学を目指した理由は、家庭の都合による引っ越しです。高校の友達の多くが地元の大学に、特に福祉の道を志す人達は東北福祉大学に進学し、入学時の自分は知り合いのいない状況に不安を抱えていました。

しかし、日本福祉大学は各地から学生が入学してくる全国区の大学ということもあつ

てか、知り合いがいないという状況はすぐに解決し、今は沢山の友達や先輩方に囲まれて、楽しく生活しています。多くの人を知り合いがあまりいないという状況が始まるということにより、多くの新たな出会いがあることは、全国区の大学ならではの魅力かもしれません。また、僕は普通科の高校出身で、大学から福祉を学ぶという、学習面でも新しい状況に対する不安がありました。

しかし、先生方の分かりやすい講義もあり、新しい分野への挑戦もあまり苦になりませんでした。今普通科や他の分野を主に学んでいる人達も、興味があれば是非考えて頂きたいと思います。

(仙台高校出身 古村恒太くん)



ここでも日福

10月14日(19:30~)に放送されたNHKの情報番組「クローズアップ現代」にて、本学社会福祉学部の湯原悦子准教授が出演しました。「介護を担う家族を救え」というテーマで、介護に努める家族側に焦点をあて、抱える負担・問題と周囲の対応について迫りました。

湯原准教授は、介護する側の支援をするために必要な取り組み、介護者法のあるべき姿について等解説しました。ご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今後このコーナーでは、テレビや新聞等のメディアで取り上げられた本学の情報を掲載していきます。



ブロックセンターより

ブロックセンターでは地域連携・同窓会連携、大学案内、入試相談等に取り組んでいます。大学案内のひとつとして高校訪問を行っており、5月から現在まで訪問した高校は368校。走行距離は約2万2千Kmに及びました。進路指導の先生とお会いして進路状況を伺い、大学の特徴や学部学科の概要、入試等説明させていただいております。他県でも最上町と縁のある先生と出会ったり、中には広報車(写真)を見て声をかけてくださった先生も。貴重な出会いを大切に、本学と東北ブロックセンターのPRのため、今日も東北地域を走っています。



入試のご案内

- 一般推薦入試(前期)
- 専門高校・総合学科等推薦入試(前期) <出願期間> 11月 1日~17日
- 高等学校卒業程度認定試験合格者入試 <試験日> 11月28日
- 社会人入試 <合格発表> 12月 4日
- 同窓会推薦一般入試

編集日誌

今回で山形最上オフィス通信も4号目になりますが、広報を作るのは難しいですね。「読むのが楽しみ!」と言ってもらえるような広報をみなさまにお届けしたいと思っています。載せてほしい事柄等がありましたらご連絡ください。(中嶋)